

校長室から応援メッセージ⑦

令和3年12月31日（金）

「不安はすべて押し隠さなければならない！」

本日、令和三年の大みそかを迎えました。山梨予備校で学ぶ生徒の皆さん、冬期講習会の真っ最中で、たいへん慌ただしい毎日をお過ごしのことと思います。今年は一瞬たりとも受験勉強のことが頭を離れず、常に落ち着かない気分の一年だったでしょう。寒さも一段と厳しくなりました。もうしばらく、張り詰めた気持ちの日々を耐えてください。

皆さんは、本番の試験を目の前にして全てが不安でどうしようもないかもしれません。成果を出さなければ、という意気込みも、意気込むほど空回りしがちです。共通テストが近づいているこの時期だからこそ、全ての不安を封印しなければなりません。不安を押し隠して、とにかく、とにかく、がんばり抜く、今はまさにそういう時期なのだと思います。

私なりに皆さんを励まそうと、この一年を振り返り、そして明日からの新しい年を思い、次のようにまとめてみました。あれこれ考えましたが、結局何も言っていない、内容のないまとめになりました。「あなたはあなたの努力をすればいい！」という、マー姉ちゃんのお母さんの言葉に私はいまだに引っ張られているようで、新しい発想が湧いてきません。

山梨予備校の令和三年が終わります

ゆったりとした気持ちで過ごせた日など一日もなかった
くるしいことだらけの毎日だったような気がする
とはいえ 時間は確実に過ぎ 2021年も間もなく終わる
しばらくは「私は私の努力をする！」しかないと思う

山梨予備校の令和四年が始まります

くなんに満ちた昨年一年間の中にも
るんるん気分の時も少しはあったような気がする
とても不安な2022年のスタートだけれど
しあわせて何なのか考えながら頑張りたいと思う

私たちは常に今を生きています。今を生きる、とは、その場所で懸命に生きる、そこに
いる自分になりきることです。「私がいて、その私が〇〇している」という構図で私たちは
自分という存在を考えますが、私という存在と、その私の行いとは切り離して考えられま
せん。私とは常に何かをしており、〇〇している私という形においてのみ私は存在します。

無限の可能性とは、何でもできるという意味ではなく、ふとしたことがきっかけで何か
が実現していたことをあとから振り返って出てくる言葉です。今の皆さんは勉強してい
る自分がすべてです。大学でも就職してからも、「他にあり得たかもしれない自分」を思
い、ため息をつくのではなく、「他にあり得なかったこの自分」を大切にしてください。

受験は人生におけるとても大きな出来事です。入学する大学が決まる、ということ以
上に、この時期をどのように経験するかということが次のステージにつながるからです。
苦しい時こそ、仲間に敬意をもって接してください。家族に感謝してください。敬意と感
謝の気持ちを忘れない姿勢は迂回して、自分に対する励まし、それもとたいへん力強い
励ましになるのです。それが自分を信じて生きる人の、自然で普通の姿だと思います。

間もなく令和三年が終わります。今年一年が皆さんの記憶に確実に残り、皆さんを
いつまでも励まし続ける年になることを心から願っています。私は予備校の空気が大好き
です。机に向かい、無心に勉強する皆さんの姿を最後まで見届けていたいと思います。
どこにあるのか皆さんはまだ絶対に知らない校長室からこれからも静かに皆さんを応援しています。